

# 女性活躍推進フォーラム in 九州 第2回

## 割り箸使って滑舌指導 印象度をアップする実践講座

◀企画づくりも追い込み——グループディスカッション



今年度第2回女性活躍推進フォーラム in 九州が9月14日、福岡市、福岡県遊技会館会議室で開かれ、実務に役立つセミナー、グループディスカッション、懇親会が行われた。前回(6月15日)に引き続いだ。

九州、中国、四国の企業12社(会員11社、非会員1社)から女性の正社員19人が参加した。

### 大熊三恵氏が講演

前田竜哉人材育成委員会委員長によるダイバーシティをテーマにしたワークショップのあと、

実務に役立つセミナーでは、デライト・コミュニケーションズ(株)大熊三恵氏が、「印象度アップ実践講座」多くの人から好印象と思われるためには」と題して講演した。

大熊氏は、印象をつくる要素として、身だしなみ、表情、

立ち居振る舞い、言葉づかい、挨拶の5点を挙げ、表情については「大切なのは顔ではなく、顔つき」「笑顔は相手への

ウェルカムサイン」「笑顔になると」「多くの人の表情は思つて

いる以上に中途半端」と指摘

### 企画作りも大詰めに

グループディスカッションでは、

した。笑顔について、「周りの人をハッピーにし、集団にもプラスの影響が出

る。脳波がα波になつてリラックスでき、潜在能力を発揮でき、集中力がアップし、自分自身が幸せな気持

ちになります」と効能を挙げた。

また、発声について、「好感度を良くするには声のトーンを上げる。それは口角を下げる。き取りやすく話すには語頭を強くする。イメージするのは『イ』の口での発声。伝わりやすくするには『間』と『抑揚』がポイント」などと述べ、割り箸を使って滑舌のコチをした。

最後に良い印象を与える6か条として、挨拶する回数、返事をする回数、笑顔の回数、相手の目を見て頷く回数、相手をほめる回数、声の大きさと明るさ――を挙げ、「印象度を上げると、チャンスが掴みやすくなります」と結んだ。

最後に場所を変えて懇親会が開かれ、他社の女性社員たちとの交

流を深めた。

前回に引き続いだ「キャリアアップシニギング」のテーマで、実現したい企画を協議した。協議にあたっては、事前に各自が企画書を作成して持ち寄り、それらを参考にグループで一本化して内容をほぼ決定し、次回(12月14日の最終回)のプレゼンテーションに備えた。企



セミナーで講演する大熊氏



女性社員が参加する2つの女性活躍推進フォーラム（in 東京、in 九州）の、各グループの企画づくりの進捗状況を確認した。企画づくりにあたって各グループへは、①自社で実践が可能か ②女性都合ではなく男性にも納得できる内容か ③社員都合ではなく会社・経営陣にも受け入れられ、企業としてのメリットを示しているか——など3つの注意点が伝えられ、各グループはその方向性がぶれないように修正を加えていく。



①実現したい企画を協力して作成し、各自が持ち帰つて自社の風土を変えていく ②実務に役立つセミナーの聴講 ③企画作成や懇親会を通じて他社の女性社員たちとの人脈づくり——の3点を目的としている。

## 人材育成委員会

9月3日  
本部会議室  
出席委員等10人

## 企画作成の経過報告 女性活躍推進フォーラム

女性活躍推進フォーラム in 九州は9月14日に第2回、12月14日に第3回（最終回）、同 in 東京は10月13日に第3回、来年1月26日に第4回（最終回）がそれぞれ開かれる。

### セミナーのテーマ決定

11月22日に東京・日本橋三洋グループビルで開かれる人材育成フォーラムのプログラム等を確認した。同フォーラムは会員企業の人事担当ミドルクラスが対象。セミナーのテーマは「生産性向上」「人事評価制度」の2つを決定した。セミナーの後、この2テーマに沿ったディスカッションを行う。さ

らに、他社との交流、人材ネットワークづくりのための懇親会を設ける。募集定員は40人（1企業2人まで）で、募集開始は10月18日ごろを予定している。

平成29年度女性活躍推進アンケート（広報調査委員会と協働）の実施状況を確認した。実施期間は8月18日から9月22日で、11月上旬までに報告書の作成・修正が行われ、同月16日の理事会に諮られ、修正を加えていく。



支部もテレビで参加（右）した人材育成委員会